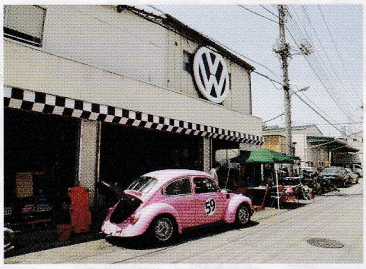


F-ROAD SUPER-BEETLE PROJECT 4th SEASON

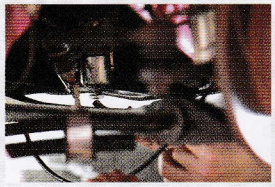
ビンビープロジェクト・サードシーズン！ Vol.34

文●半谷範一　撮影●森口信之
取材協力●ベストインポートサービス(BIS)
tel:048-282-6119
http://www.vw-bis.co.jp

突然エンジンがお亡くなりになりました ガソリンが供給されない原因は？

電磁ポンプのトラブルのハズが、なぜ直らないんだ？

ビンビー、突然エンジンがかからなくなりましたけど、キャブの手前のフィルターまで燃料が上がってきていないし、燃料供給系、つまり追加した電磁ポンプのトラブルであることは予想がつきました。念のため、タンクからポンプにつながるホースを外してみたところ、勢い良く燃料が出てきたので、タンクやホースが詰まっているという心配もありません。この日は時間がなかったこともあって、とりあえず電磁ポンプをバイパスさせてエンジン側の機械式ポンプを使うことに決定。前後で同時に作業をすすめることにしました。電磁ポンプの所にはバイパスに使えるような適当な中間パイプがなかったので、間にフューエル・フィルターを挟むことで対応することにしました。そんな感じで、まぁ楽勝だろうと思っていたものの、作業を終えてエンジンを始動してみたら…かからない！　相変わらず、キャブの手前のフィルターまで燃料が来ません。電磁ポンプにもフィルターが付いているので、どこからか燃料パイプの中に異物が入って詰まってしまうということは考えられません。しかし、この日はこの後の予定もあり、時間切れで作業は中止になりました。他のクルマならともかく、ビートルで故障の原因が分からないのは凄く悔しいです。



先月号をご覧になって下さった皆さんならご存じの通り、ピンビーのエンジンが突然死してしまいました！

前回の作業はタペットカバーのパッキンを交換したり、外してしまったヒーターレバーを取り付けたり、とまぁ簡単な作業ばかりだったので取材もサクサク終わり、さぁ帰ろうかと思ったのに…。ありゃりゃ!?　エンジンが掛からないよ。

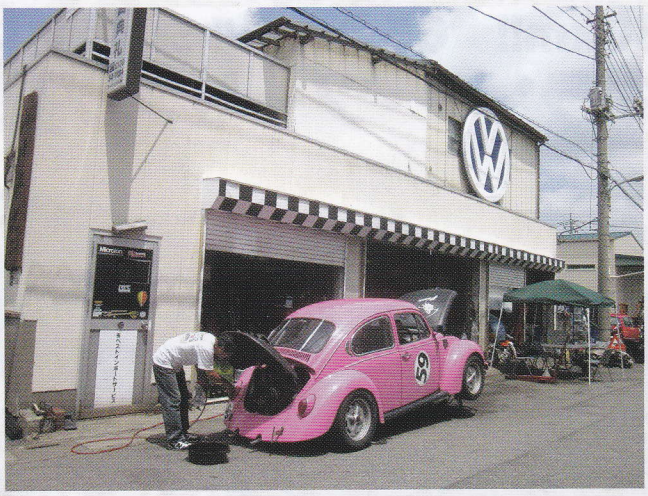
ピンビーにはキャブの手前にフューエル・フィルターを追加してあるので、燃料が来ていないことだけはすぐに分かりました。古Q編集長に動かなくなったときの状況を聞いたみたところ、「あのカチカチカチっていう燃料ポンプの音、急に聞こえてこなくなりました」とのこと。こりゃもう十中八九、後付けした電磁ポンプのトラブルで間違いないでしょう。楽勝だな。

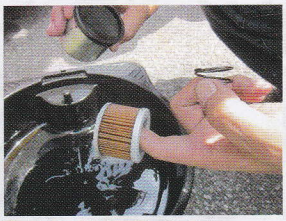
ピンビーの場合、レースではツインキャブの2リッターエンジンを搭載しているので、ノーマルの機械式ポンプでは吐出量が足りません。そこで燃料タンクの近くに電磁ポンプを装着してあります。しかし、現在搭載されている街乗り用のエンジンはシングル・キャブの1300cc。ノーマルの機械式ポンプでも全然問題ありません。

森口さんも私もトラブルの元になりやすい電磁ポンプは好きじゃないんで(笑)、即決で電磁ポンプをバイパスして、エンジン側の機械式ポンプを使うことに決定。さっそく作業を行なったのですが…。あれっ、オカシイなぁ。まだエンジンが掛からない。それじゃ原因は何なんだろう？　というわけで、ことの顛末は写真のキャプションをご覧ください。

ナビゲーション取り付け

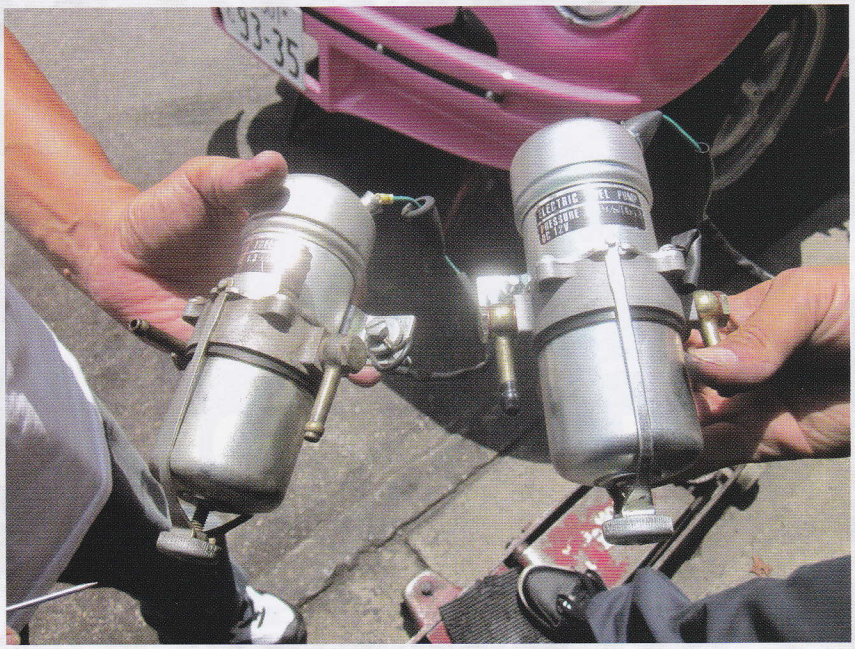
古Q編集長、ちょっと手持ち無沙汰そうだなぁと思っていたら、カーナビを付けてました。ビンビーのダッシュはフラットなので、取り付けるのにも苦労は要りません。この位置では邪魔になりそうに見えるかも知れませんが、元々の高さが低いのでほとんど気になりません。最近のポータブルナビ、値段は安くてもちゃんと使えますね。





疑わしきは罰します！電磁ポンプを交換してみる

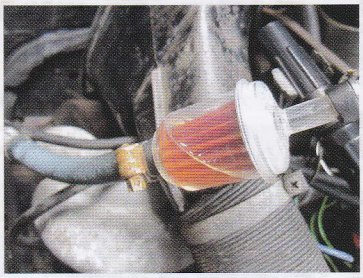
…というわけで、日を改めて再挑戦することになりました。一見すると右ページの写真とまったく同じように見えるかもしれませんが、実はページの左右で1ヵ月が経過しています（笑）。まず最初は衛くんに一番疑わしい電磁ポンプの状態をチェックしてもらうことにしたところ、はやり動きがあまり良くないことが判明。潔く諦めて交換することにしました。まぁ確かにそれが一番の近道ということだけは間違いありません。一応、電磁ポンプを開いて、中に組み込まれているフィルターの様子を確認しましたが、ご覧のように別に異常はありません。



やはり犯人はお前か！

直接バッテリーに接続してみたところ、ちゃんと作動していなかったことが判明。やっぱり犯人は電磁ポンプだったんですね。でも、それじゃなんで機械式ポンプに交換したときに作動しなかったのだろう？

大事なことを忘れていました



実は発電機をダイナモからオルタに交換するとき、ブロックオフ代わりにオルタに当たらない形のポンプを付けておいたのですが、そのときに不用なプッシュロッドを入れないで組んでいた！ のを忘れていたのです。それじゃ動くワケ、ないよね（笑）。電磁ポンプを交換後は、このようにちゃんとフィルターの所まで燃料も上がってきて、何事もなかったかのように始動できました。ポンプに負荷が掛からないように、アース線も導通が良くなるように手を加えました。

第2のプロジェクト！次号より連載開始か!?

古Qジュニアがちゃんとマニュアルの免許を取ったのでビンビーに乗るのか？ と思っていたら、嫌がって乗ってくれないそうです。そこで、古Q家ではビンビーをレース専用にして、何かマニュアルのクルマを導入することにしました。最初はポロのGTiにしようと思っていたけど、せっかくだから企画にしようということになり、思いついたのがこれ。日本にはわずか110台しか正規輸入されていないという幻の限定車、VWゴルフ・カントリーを復活させようという新プロジェクト。実はBISの山崎社長も自分の趣味でこのクルマを使おうと思い、以前から色々とレアなパーツをストックしていた模様。ゴルフⅡベースですが、ゲレンデバーゲンと同じプフが作ったクルマだし、色々と面白いことができそうだなぁ。

広大なBISのストックヤードで久々にゴルフ・カントリーに対面し、みんなちょっと興奮気味。「ボディをジェッタに改造しよう」「ゴルフⅢのGTiエンジンを載せましょう」とかなんとか…。みんな好き勝手なこと言ってます。